



Future From Fukushima.

ふくしまからありがとう

# 復興しな

ふっこうれたー  
第7号  
平成30年4月

ふくしまから  
はじめよう。

## 「今日の努力は 笑顔あふれる農空間 復興のために」

春の気配もようやく整った今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。震災から7年が経過し、毎年発行の「復興レター」も第7号となりました。平成29年は福島県飯舘村、川俣町、浪江町、富岡町において避難指示解除準備区域や居住制限区域が解除されました。帰還困難区域についてはこれまで解除になった区域に比べて条件が厳しい区域ではあるものの、基本指針等が決定されて復興に向けた取組も本格化しています。また、福島県の農地・農業用施設の復旧の状況ですが、全2,263箇所の内76%を完了する事ができました。遠くふるさとを離れ、福島県の復旧・復興に取り組んで頂いている皆様と、職員が減っている中、仕事を分担して職員を派遣して頂いている派遣元の皆様方に心から感謝しております。



平成30年6月10日(日)には福島県南相馬市原町区雫地内の海岸防災林整備地で「第69回全国植樹祭」が開催されます。是非、皆様にはお力添えをいただいた福島県の復旧復興の状況を見に来ていただくとともに、引き続き変わらぬご支援をお願いいたします。福島県農村振興技術連盟では、ご縁あって当県支援に赴いて頂いた方々との絆を持ち続けたいことから、年1回ではありますが今後もお伝えしてまいります。

福島県農村振興技術連盟委員長 菊地 和明  
(福島県農林水産部次長 (農村整備担当))

## 福耕支援隊の皆さん 集合!!



## 福耕支援隊チームからのメッセージ

相双農林事務所農村整備第二課 原町北部農地復旧担当では、主に南相馬市原町区北部の農地復旧を担当しています。業務内容は津波被災した農地復旧と営農の効率化を図ることを目的としたほ場整備を行っております。担当地区は原町東地区、馬場西地区、金沢北泉地区です。

平成29年度は5名の福耕支援隊の方々に、日々の業務に励んで頂きましたので、ここで皆様のメッセージをご紹介します。

### 青森県 田中将樹 主査 (担当：原町東地区)

平成24年度に広野町へ派遣されて以来2回目となり、5年振りに目にした相双地方は、着実に復興が進んでいることを実感したものの、震災の爪痕が残っている地域もあり、未だ道半ばという感を受けました。着任当初は業務の進め方や設計思想の違い等に戸惑いましたが、全国から集まった同志やプロパー職員の皆さんから刺激を受けるとともに、皆で支え合いながら日々業務を進めました。

一日も早い復興の手助けとなるよう、全力で業務に当たりました。

### 秋田県 越後屋光輝 技師 (担当：原町東地区)

震災当時まだ中学を卒業したばかりだったことを考えると月日の流れを感じます。去年4月に人生で初めて福島県に足を踏み入れ、業務では様々な場面で秋田との違いに翻弄され、自分自身の勉強にもなりました。

担当工事を竣工させて、しっかり役割を果たし気持ちよく派遣業務を終えられるよう頑張りました。

### 新潟県 関敏明 主査 (担当：原町東地区)

震災から7年が経過し、復旧復興は着実に一步一步進んでいますが、これから進んでいく「みち」もあります。様々な地域・分野で日常を取戻す取組みがなされています。新潟からも数多くの業者が入り復興にたずさわり福島を支えています。

私たち支援隊は、被災地の農業農村の抱える課題とその解決に向けた取組みをみなさんに発信していくことが大切な役割ではないかと考えています。大きく羽ばたく新生ふくしまの挑戦は続きます。

### 滋賀県 高森寿士 主任主査 (担当：馬場西地区)

昨年4月に着任し様々な面で不安もありましたが、事務所の皆様のおかげで何とか業務を遂行していくことができ、また、福島の一と、おいしい食べものやすばらしい自然風景、空気や水、木々にも触れ合うこともできて大変感謝しています。

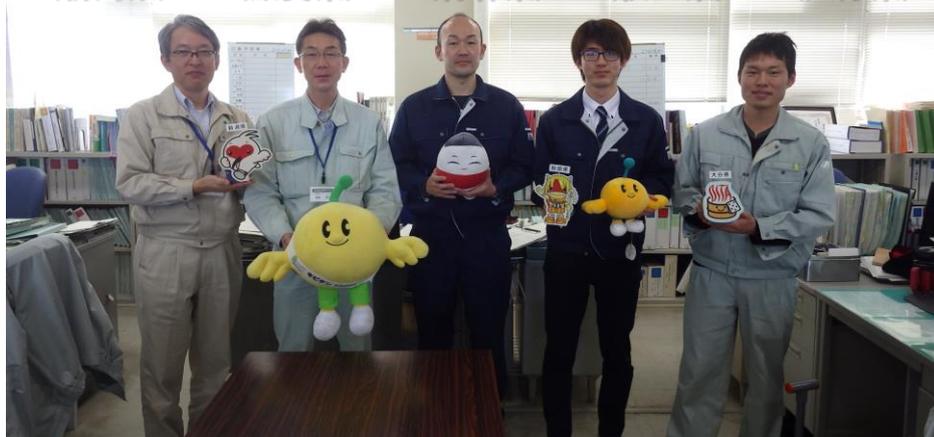
少しでも福島県の復旧・復興が前へ進んでいくことを目標に、日々の支援業務を行いました。

### 大分県 渡邊一生 技師 (担当：原町東地区)

福島県に赴任した当時、担当地区をチーム全員で巡回し、被災の規模や範囲の大きさに愕然としたことを覚えています。これだけの規模の災害の復旧に役立てるだろうか不安でしたが、プロパーや同じ派遣職員、時には施工業者にも助けられながら日々の業務に当たりました。

福島県の復興が前に進むよう、派遣業務を一生懸命頑張りました。

関主査 (新潟県) 高森主任主査 (滋賀県) 田中主査 (青森県) 越後屋技師 (秋田県) 渡邊技師 (大分県)



福耕支援隊の方々に、業務に励んで頂きました！

## これまでの福耕支援隊の支援体制（配置人数）

区分	平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	箇所数	名称	箇所数	名称	箇所数	名称	
派遣元	農林水産省	8局 北海道、関東、北陸、東海、近畿、中国四国、九州、沖縄	8局 北海道、関東、北陸、東海、近畿、中国四国、九州、沖縄	7局 北海道、関東、北陸、東海、近畿、中国四国、沖縄	7局 北海道、関東、北陸、東海、近畿、中国四国、沖縄	7局 北海道、関東、北陸、東海、近畿、中国四国、沖縄	
	都道府県	27道府県 北海道、青森、栃木、群馬、新潟、静岡、富山、石川、福井、長野、山梨、岐阜、滋賀、愛知、京都、大阪、島根、岡山、広島、山口、愛媛、香川、福岡、長崎、大分、宮崎、沖縄	16道県 北海道、青森、秋田、栃木、群馬、埼玉、神奈川、新潟、山梨、長野、滋賀、山口、愛媛、福岡、大分、沖縄	12道県 北海道、青森、秋田、栃木、埼玉、新潟、山梨、滋賀、山口、愛媛、大分、沖縄	12道県 北海道、青森、秋田、栃木、埼玉、新潟、山梨、滋賀、山口、愛媛、大分、沖縄	12道県 北海道、青森、秋田、栃木、埼玉、新潟、山梨、滋賀、山口、愛媛、大分、沖縄	12道県 北海道、青森、秋田、栃木、埼玉、新潟、山梨、滋賀、山口、愛媛、大分、沖縄
	市町村	3市 新潟県新発田市 富山県富山市 富山県南砺市	3市 新潟県新発田市 富山県富山市 富山県南砺市	6市 新潟県新発田市 富山県富山市 富山県南砺市 新潟県小千谷市 富山県南砺市 長崎県諫早市	6市 新潟県新発田市 富山県富山市 富山県南砺市 新潟県小千谷市 富山県南砺市 長崎県諫早市	6市 新潟県新発田市 富山県富山市 富山県南砺市 新潟県小千谷市 富山県南砺市 長崎県諫早市	6市 新潟県新発田市 富山県富山市 富山県南砺市 新潟県小千谷市 富山県南砺市 長崎県諫早市
派遣先	県	2事務所 県中農林事務所 相双農林事務所	1事務所 相双農林事務所	1事務所 相双農林事務所	1事務所 相双農林事務所	1事務所 相双農林事務所	
	市町村	5市町 須賀川市、相馬市、南相馬市、広野町、新地町	7市町 須賀川市、相馬市、南相馬市、広野町、新地町、檜葉町、浪江町	7市町 須賀川市、相馬市、南相馬市、広野町、新地町、檜葉町、浪江町	7市町 須賀川市、相馬市、南相馬市、広野町、新地町、檜葉町、浪江町	7市町 須賀川市、相馬市、南相馬市、広野町、新地町、檜葉町、浪江町	7市町 須賀川市、相馬市、南相馬市、広野町、新地町、檜葉町、浪江町
人数	294名		353名		307名		
延べ人数	3,827人・日		10,079人・日		10,887人・日		

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	箇所数	名称	箇所数	名称	箇所数	名称	箇所数	名称
派遣元	農林水産省	7局 北海道、関東、北陸、東海、近畿、中国四国、沖縄	7局 北海道、関東、北陸、東海、近畿、中国四国、沖縄	8局 北海道、関東、北陸、東海、近畿、中国四国、九州、沖縄	8局 北海道、関東、北陸、東海、近畿、中国四国、九州、沖縄	7局 東北、関東、北陸、東海、近畿、中国四国、九州	7局 東北、関東、北陸、東海、近畿、中国四国、九州	
	都道府県	11道県 北海道、青森、秋田、栃木、埼玉、新潟、滋賀、山口、愛媛、大分、沖縄	11道県 北海道、青森、秋田、栃木、埼玉、新潟、滋賀、山口、愛媛、大分、沖縄	11道県 北海道、青森、秋田、栃木、埼玉、新潟、滋賀、山口、愛媛、大分、沖縄	11道県 北海道、青森、秋田、栃木、埼玉、新潟、滋賀、山口、愛媛、大分、沖縄	10道県 青森、秋田、栃木、埼玉、新潟、神奈川、滋賀、愛媛、大分、沖縄	10道県 青森、秋田、栃木、埼玉、新潟、神奈川、滋賀、愛媛、大分、沖縄	
	市町村	4市 新潟県新発田市 富山県富山市 福井県大野市 長崎県諫早市	4市 新潟県新発田市 福井県大野市 岡山県総社市 長崎県諫早市	3市 福井県大野市 岡山県総社市 長崎県諫早市	3市 福井県大野市 岡山県総社市 長崎県諫早市	2市 長崎県諫早市、鹿児島県日置市	2市 長崎県諫早市、鹿児島県日置市	
派遣先	県	1事務所 相双農林事務所	1事務所 相双農林事務所	1事務所 相双農林事務所	1事務所 相双農林事務所	1事務所 相双農林事務所	1事務所 相双農林事務所	
	市町村	6市町 相馬市、南相馬市、広野町、新地町、檜葉町、浪江町	6市町 相馬市、南相馬市、広野町、新地町、檜葉町、浪江町	7市町 相馬市、南相馬市、広野町、新地町、檜葉町、浪江町、川内村	7市町 相馬市、南相馬市、広野町、新地町、檜葉町、浪江町、川内村	5市町 相馬市、南相馬市、新地町、檜葉町、浪江町	5市町 相馬市、南相馬市、新地町、檜葉町、浪江町	
人数	258名		241名		196名		97名	
延べ人数	11,292人・日		10,614人・日		9,730人・日		7,083人・日	

# 福耕支援隊 滋賀県・愛媛県にインタビュー

今回紹介させていただくのは「滋賀県 吉村英樹主査」と「愛媛県 織田千穂主査」のお二人です。吉村さんは、7年前の震災直後に福島県福島市で2週間の避難所支援を行っていただき、織田さんは5年前に一度派遣支援に来ていただいております。当時と比べての福島県の印象や、福島県での生活などについてインタビューをしました。

## 吉村英樹さんの答え

### Q1：被災地や福島県に来て見た感想・印象はいかがでしたか？

私が福島に初めて来たのは、7年前の震災直後でした。福島市のあづま総合運動公園で2週間の避難所運営支援を行いました。その際、甚大な被害を受けた浜通りを目の当たりにし、私にも何かできないかとの思いを持ち、2年前より災害復旧事業に携わる機会を得ました。

7年前の状況から考えると、復旧・復興は着実に進んでいると感じます。その一方、原発事故による避難指示が解除されたばかりの地域では、復旧復興がスタートラインに立ったばかりです。少しでも早く復旧復興できることを祈念しています。

福島県の面積は滋賀県の3倍もあり、「とにかく広い」というのが第一印象です。それだけに、各地域（浜通り、中通り、会津地方）に特有の歴史風土があり、風光明媚で人情味豊かと、魅力いっぱいでもとてもいいところです。

### Q2：福島県で生活してみて、どのように感じましたか？

食べ物がおいしく、酒がうまい。ついつい食べ過ぎて、メタボ気味に・・・

住んでいる相双管内は夏、意外に涼しくてクーラーはほとんど使わないくらいでした。冬はとても冷たい風で凍えましたが、住みやすいところだと思います。

### Q3：福島県のお気に入りやお勧めは見つかりましたか？

お気に入りの一番目は【温泉】です。南会津町の木賊温泉、柳津町の西山温泉、西郷村の甲子温泉、福島市の高湯温泉、飯坂温泉など、特色ある温泉が多く、あげればキリがありません。

二番目は【食べ物】です。円盤餃子、会津坂下の馬刺し、会津のソースカツ丼、いわきの常磐ものの魚介類、喜多方ラーメン、白河ラーメン・・・どれもおいしいです。ちなみに相双管内では、新地町のとんかつ（さくら家）、南相馬のラーメン（丸一食堂、双葉食堂）、葛尾村の石井食堂（とにかくビックサイズ）がおすすめです。

それと三番目に【日本酒】です。とにかく旨い。個人的には会津の酒が大好きです。

### Q4：最後にメッセージをお願いいたします。

福島県で自治法派遣職員として2年間、復旧復興の仕事に携わりとてもやりがいを感じた日々でした。

福島県職員や関係機関の皆様には公私にわたりご配慮いただき、感謝の気持ちで一杯です。魅力たっぷりの福島県に「第2のふるさと」的な思いまで感じます。

われわれ福耕支援隊一人一人は、微力ではありますが帰県した際には、福島県の現状を伝え、多方面からの正しい理解と支援を続けていきたい。復旧復興はまだ続くと思いますが、福島の日も早い復旧復興を祈念します。

## 織田千穂さんの答え

5年前の派遣時と比べ、家が建ち並び、鉄道、道路が復旧、新設されていて驚きました。

当時ボランティア活動で植栽した、細い桜の苗木が大きく育っているのを見たときは、感慨深いものでした。



南会津町の木賊温泉岩風呂

いわき市の湯本温泉

5年前の相双地域はまれに見る積雪により業務に影響が出ましたが、今回も同様でした。「さすが北国やなあ」とばかりに、知識が浅い私は地形がもたらす気象現象の小理屈なぞ理解できず、「東北・浜通りは豪雪地帯」と間違った認識を抱いたままです。

【食べ物】四つ割りパン、アイスまんじゅう、凍み餅、ツブ貝、喜多方ラーメン、磐城太田駅前のコロケ、米と酒。

【癒やし】いわきハワイアンリゾート、湯本の温泉、原町付近で飼われているお馬さん。



喜多方ラーメンをいただきました

原町のお馬さん

今回も微力ながらご一緒できたことと、また色々ご指導下さったことに対し、厚く感謝いたします。

都道府県の職員は、地域間の交流が少ないと思います。主目的は「災害事業の支援」ですが、副次的である交流の機会を与えていただいたことは大変刺激的でした。また「農」に携わる者として（というより単純に食べることが好きな私にとって）、地域それぞれの食文化に触れられるのはとても幸せでした。

# 福島県 福耕支援隊

大震災から7年が経過し、本県の復旧・復興は着実に進んでいます。一方で相双地方は、避難指示が解除されない区域が残されており、未だに営農が再開できない地域も多く、復興途上の状況です。

これまで、国並びに全国27道府県から、延べ1678人の福耕支援隊の方々の応援により、南相馬市原町区以北、楡葉町以南の津波被災地で営農が再開され、復興の足跡が少しずつ見えるようになりました。

飯舘村と浪江町・富岡町の一部で避難指示が解除となり、農地や農業用施設の災害復旧事業、新規のほ場整備事業の取組が進展しつつあります。

海岸堤防・津波被災農地の復旧や作付け制限解除農地の整備など、業務は多忙を極めますが、相双地方の農業を蘇らせるため、さらには、安心して戻れる環境を整備するため、職員が一丸となってほ場の整備や農業水利施設の復旧に邁進しているところです。

また、早くより営農を再開した区域においては、ほ場整備や災害復旧を契機とした新たな営農の取組が構築され、大規模経営体による最新の営農が展開されつつあります。

担い手不足や集落機能の崩壊など、被災地の農業農村における問題は山積しておりますが、復興に携わる職員一人一人が知恵を絞り、ソフト・ハード部門が連携して業務に取組んで参りたいと思います。

平成30年度は復興創生期間の折り返しとなります。これからも全国からのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

**相双農林事務所 農村整備部長 大久保 進一**

## 東北地方太平洋沖地震災害 災害復旧執行状況（相双農林事務所）H30.2.28 現在

		計画変更後事業費		着手状況				完了箇所				
		箇所数 (ヶ所)	事業費 (千円)	箇所数 (ヶ所)	進度 %	事業費 (千円)	進度 %	箇所数 (ヶ所)	進度 %	事業費 (千円)	進度 %	
農村整備部	県工事	海岸災害復旧事業	30	28,302,990	30	100.0%	25,655,252	90.6%	17	56.7%	20,580,702	72.7%
		農業用施設	45	14,107,276	44	97.8%	13,954,804	98.9%	41	91.1%	12,849,438	91.1%
		農地(区画整理)	113	19,043,449	86	76.1%	3,566,284	18.7%	4	3.5%	182,818	1.0%
		農業用施設(区画整理)	140	3,235,234	17	12.1%	234,519	7.2%	10	7.1%	192,084	5.9%
		<b>県 営 計</b>	<b>328</b>	<b>64,688,949</b>	<b>177</b>	<b>54.0%</b>	<b>43,410,859</b>	<b>67.1%</b>	<b>72</b>	<b>22.0%</b>	<b>33,805,042</b>	<b>52.3%</b>
	市町村工事	農地	278	19,782,774	205	73.7%	4,540,620	23.0%	191	68.7%	3,532,051	17.9%
		農地(除塩事業を除く)	204	19,540,723	144	70.6%	4,405,027	22.5%	132	64.7%	3,396,456	17.4%
		除塩事業	74	242,051	61	82.4%	135,593	56.0%	59	79.7%	135,595	56.0%
		農業用施設	483	5,913,491	360	74.5%	3,763,617	63.6%	330	68.3%	3,073,800	52.0%
		農業集落排水施設	20	2,071,983	17	85.0%	1,765,849	85.2%	16	80.0%	1,765,849	85.2%
<b>団 体 営 計</b>		<b>781</b>	<b>27,768,248</b>	<b>582</b>	<b>74.5%</b>	<b>10,070,086</b>	<b>36.3%</b>	<b>537</b>	<b>68.8%</b>	<b>8,371,700</b>	<b>30.1%</b>	
<b>計</b>	<b>合計</b>	<b>1,109</b>	<b>92,457,197</b>	<b>759</b>	<b>68.4%</b>	<b>53,480,945</b>	<b>57.8%</b>	<b>609</b>	<b>54.9%</b>	<b>42,176,742</b>	<b>45.6%</b>	
<b>合 計(前年)</b>		1,086	88,546,894	743	68.4%	52,956,201	59.8%	488	44.9%	37,831,631	42.7%	
<b>増減</b>		23	3,910,303	16		524,744		121		4,345,111		

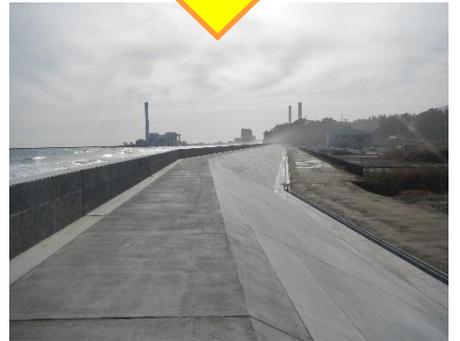
## 農業農村整備 復旧・復興のあゆみフォト



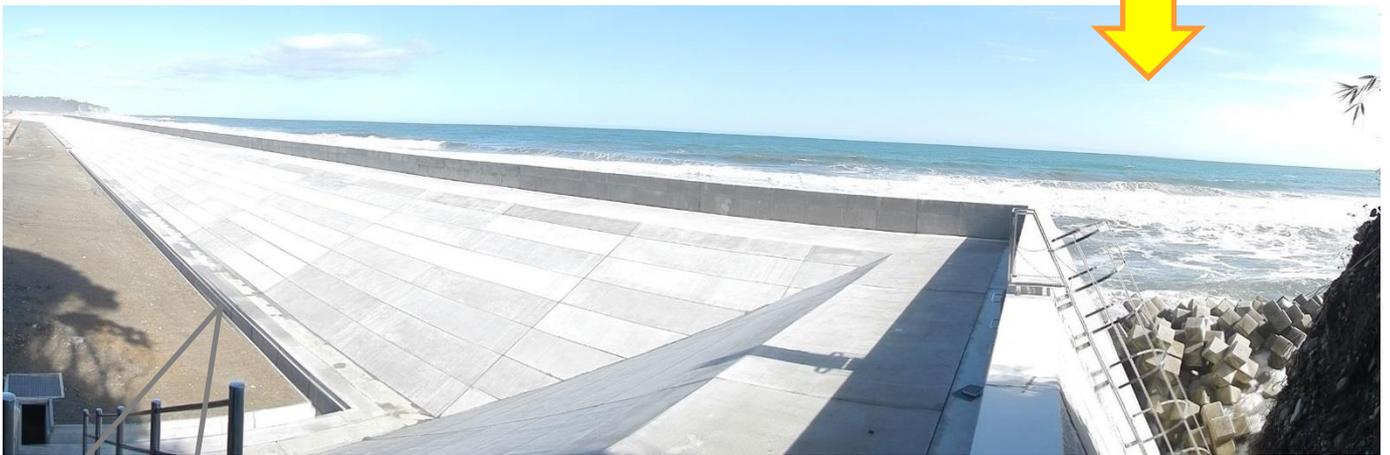
村上排水機場（南相馬市）



福浦南部排水機場（南相馬市）



山田浜地区海岸（楡葉町）



平成24年度より海岸災害復旧事業で取り組んできた山田浜地区海岸の堤防工事が、今年1月に完了しました。延長652m、総事業費は約30億円です。

資材や作業員不足、度重なる台風の影響による波浪や強風に見舞われましたが、試行錯誤により予定よりも1年早く完了することができました。

担当された埼玉県の町田昌司さん、滋賀県の井上浩行さんを始め皆様に厚く御礼を申し上げます。

詳しくは、福島県農村計画課で発行の「農空間」をご覧ください。

福島県農村計画課

検索



## ～ 福耕支援隊の2年間を振り返って ～

埼玉県から派遣の君嶋克一と申します。

私が配属となった相双農林事務所農村整備第二課（北部農地担当）では、主に南相馬市北部の農地復旧を担当しています。業務内容は被災した農地の復旧や今後の営農の効率化を図った整備を行っており、2年の派遣期間を終えました。

私が派遣を希望したのは、平成23年3月11日のあの衝撃的な津波被害の生中継を観たことがきっかけでした。未曾有の大災害の支援のため、各地からボランティアが集結し、被災者の支援を始めていたので、行政に属する自分にも何か出来ないかと考えるようになりました。

そんな折、埼玉県の中で第一陣の派遣者の募集が行われたのですが、これに応募したところ、経験不足を理由に所属していた事務所に却下されました。体力には自信がりましたが、体力だけでは震災直後の派遣は務まらなかった様です。その後、4年間工事の実務経験を積み、更にスポーツなどで体を鍛えて平成28年度の派遣者募集に手を上げ、満を持して平成28年度の県外応援者として福島県に赴く事になりました。5年越しになりましたが、これでやっと被災地の支援が出来ると思いました。

いざ福島県に来てみると、映像の壊滅的なイメージとはほど遠い活気溢れる町並みがあり、たったの5年でここまで復旧する人間の、日本人の、福島県の力に驚きました。ただ、形は整いつつも、未だに『復興』には至っていないことも実感しました。

私が担当した業務は農地の復旧・再整備ですが、いままで農業を営んでおられた方が収入源たる農業が出来ない状況があり、更には原発の風評被害が蔓延し、元の営みに戻る『復興』にはまだまだ時間が掛かると思いました。

派遣は基本には1年で交代となります。しかし、これだこの一年で培った現地のノウハウと人の縁が切れてしまい、復興のスピードにブレーキが掛かってしまうので、一刻も早い復興に寄与できるよう派遣2年目を志願しました。

現在の福島県の復興状況は、震災当初の復旧スピードからすると微速前進という感じで『もっと早くしなければ！』と焦りを感じることもあり、派遣期間の最後の最後まで精一杯頑張りました。これからも、福島県の1日も早い復旧・復興を願っております。



君嶋さん

## 福耕支援隊フォトレポート～業務でもプライベートでも復興支援～



4月に本庁挨拶をしました



エンジンの段階確認中



現場で地元の方と打合せ



愛媛のミカン素晴らしい



恒例の畠副知事との懇談会



親睦会旅行に行きました



福島に生まれて、福島で育って、福島で働いて、福島で結婚して、  
福島で子供を産んで、福島で子どもを育てて、福島で孫を見て、  
福島でひ孫を見て、福島で最期を過ごす。

それが私の“夢”なのです。

あなたが福島を大好きになれば幸せです。

《出典：第35回全国高等学校総合文化祭 構成劇でのメッセージ》



全国農村振興技術連盟会員の皆様や台湾農田水利会連合会からの義援金を  
はじめ、多大なるご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

発行元：福島県農村振興技術連盟（編集 福島県農村計画課）  
電話：024-521-7403 FAX：024-521-7545